

※本資料は、茨城県高次脳機能障害者自動車再運転支援連絡研究会にて実施した、茨城県内医療機関における自動車運転評価に関するアンケートの結果をまとめたものです。

また、この結果はアンケート実施時点(令和3年1～2月)のものであります。

実際の運転評価の実施は様々な状況のもと、医師の判断により行われるものです。実際状況と異なる場合も多くあると考えられます。

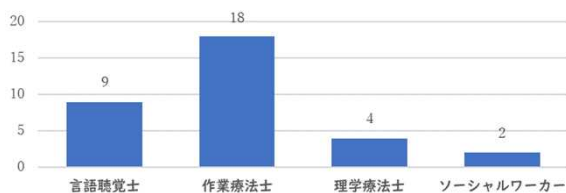
あくまで参考情報としての取り扱いをお願いいたします。

茨城県高次脳機能障害支援センター 自動車再運転支援連絡研究会

## 自動車評価に関するアンケート結果より

### <基本データ>

- ✓ 調査期間: 令和3(2021年)2月～3月中旬
- ✓ 調査対象: 茨城県内の急性期病院、回復期リハビリテーション病床を有する病院、  
高次脳機能障害の診療を行うと記載のあった病院(第7次医療計画医療機能・連携調査に基づく)  
計75病院
- ✓ 調査方法: Googleフォームを用いたWEBアンケート形式

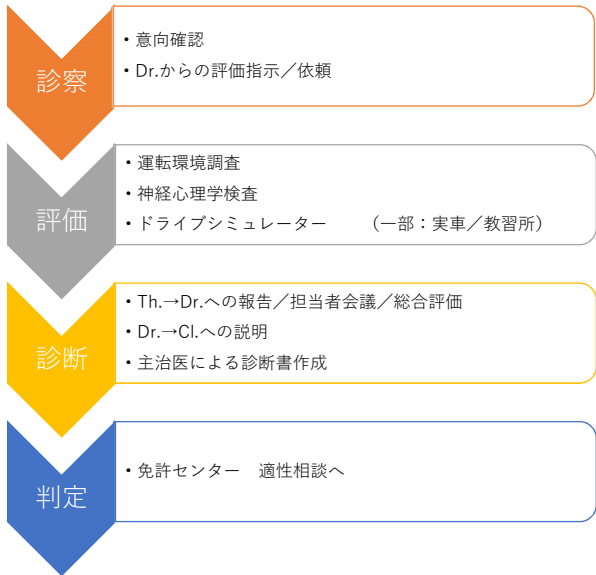
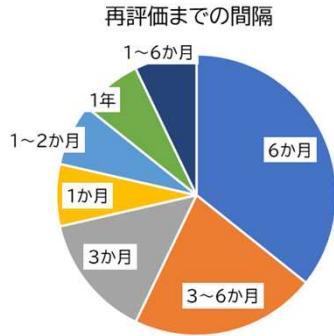


圏域	郵送数	回収数	回収率 (%)
県央地区	24	10	41.6
県北地区	11	4	36.3
鹿行地区	4	2	50.0
県南地区	25	14	56.0
県西地区	11	3	27.2
合計	75	33	44.0

茨城県高次脳機能障害支援センター 自動車再運転支援連絡研究会

### ✓ 評価の流れ

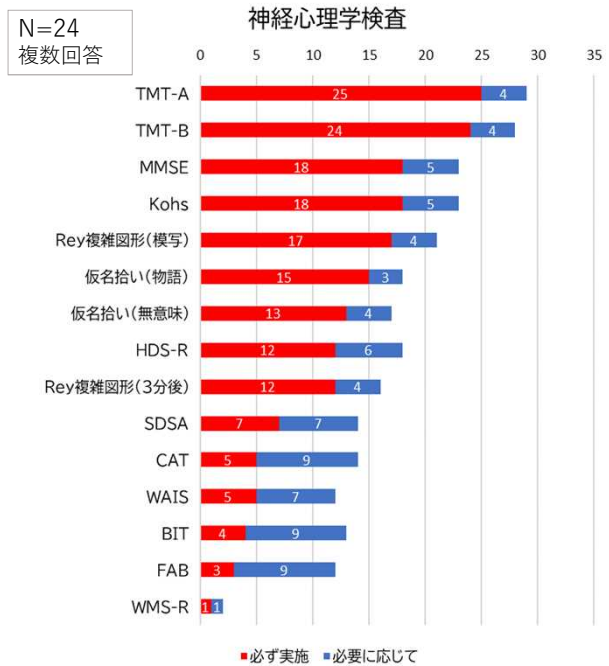
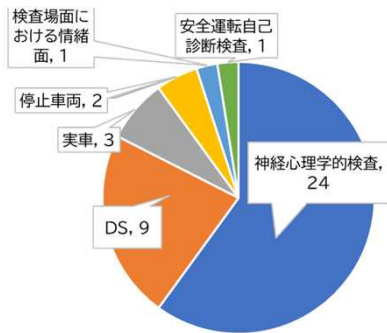
- ・診断書は患者さんが持参が9割
- ・運転可否の最終判断は免許センター
- ・再評価は受傷後の経過年数や、本人の状態によって変動あり。
- ・再評価は行わない医療機関もあり(3件)。



茨城県高次脳機能障害支援センター 自動車再運転支援連絡研究会

### ✓ 評価に用いている検査・指標について

運転の評価を「している」と回答した24機関からの回答をもとに整理。

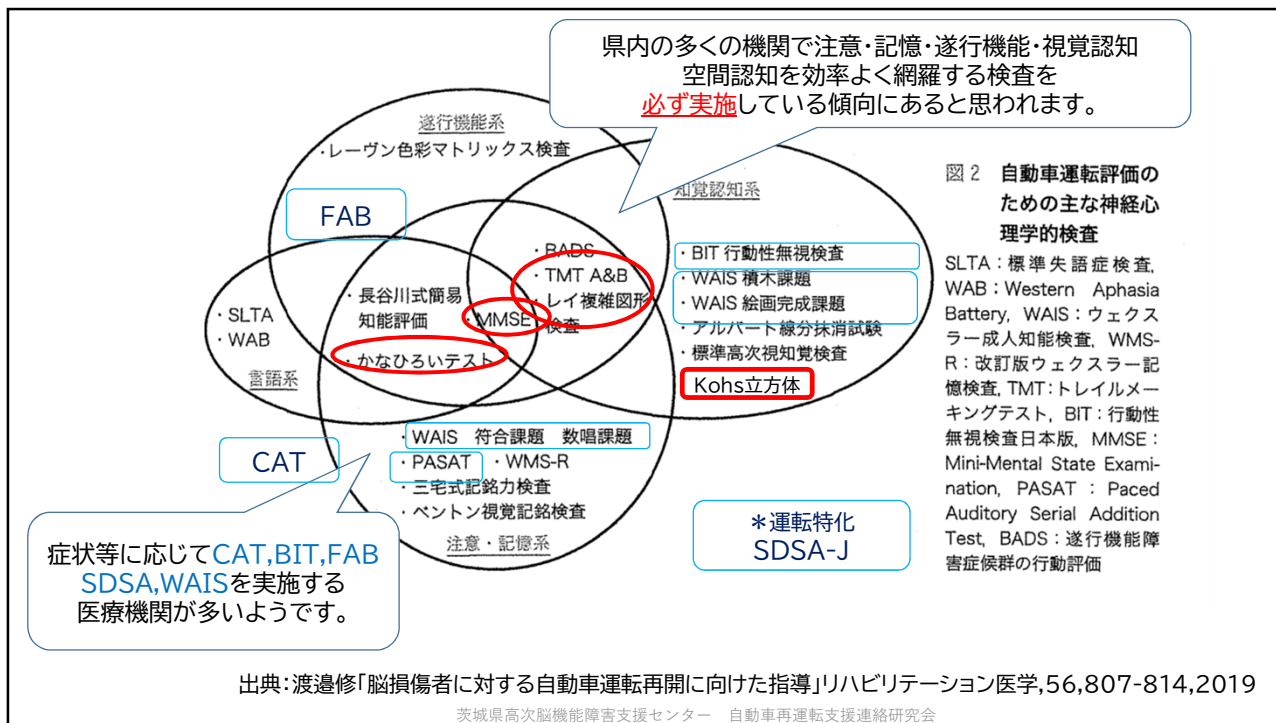


茨城県高次脳機能障害支援センター 自動車再運転支援連絡研究会

- ✓ 「必ず実施する検査」の組合せを分析 → 選択肢が多いため全く同じ組合せの抽出は困難…
- ✓ TMTの縦／横、A／B、仮名拾いの無意味／物語、Reyの模写／再生の要素を整理して再整理  
 A:HDS-R, TMT, 仮名ひろいテスト, Rey-Osterrieth複雑図形, Kohs立方体組み合わせテスト (2件)  
 B:MMSE, TMT, 仮名ひろいテスト, Rey-Osterrieth複雑図形, Kohs立方体組み合わせテスト (2件)
- ✓ 24機関中、20機関でこの5種類は共通して「必ず実施」と回答。

- ① MMSE (※HDS-Rも行うと回答:10機関)
- ② TMT
- ③ 仮名ひろいテスト
- ④ Rey-Osterrieth複雑図形
- ⑤ Kohs立方体組み合わせテスト

茨城県高次脳機能障害者支援センター 自動車再運転支援連絡研究会



✓ 運転適性検査に有効な検査 加藤徳明 2021, 高次脳機能障害と自動車運転, 高次脳機能研究第 41 巻第 2 号より

表1 運転適性評価に有効な検査

	路上評価の予測因子	運転再開者の成績が良い検査
知能検査	MMSE	MMSE
	WAISの絵画完成・積木模様・符号	WAISの行列推理・符号
注意機能検査	TMT	TMT
	SDMT, Stroop Test	SDMT
反応時間検査	複雑反応時間	複雑反応時間
	単純反応時間	
視空間構成・認知機能検査	ROCF	ROCF
	Cube Copy	BIT
視覚機能検査	UFOV	UFOV
	視力・動体視力	視覚コントラスト感度
その他	SDSA	FIM
		SIS

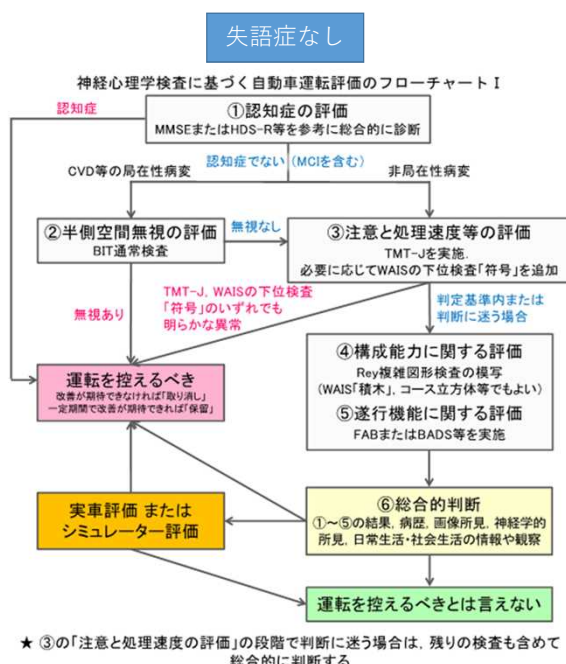
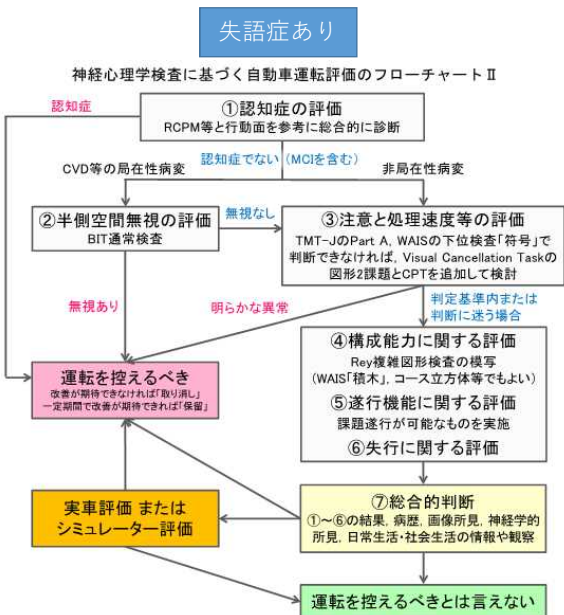
(加藤徳明, 佐伯 寛, 蜂須賀研二: 高次脳機能障害者のための自動車運転再開評価 (平澤泰介ほか, 編), 臨床医とコメディカルのための最新リハビリテーション, 寺田国際事務所/先端医療技術研究所, 東京, 2016, pp. 26-29. より引用)

✓ 加藤貴志他 2016, 脳損傷者の実車運転技能に関連する神経心理学的検査について—システムティックレビューとメタ分析, 総合リハビリテーション, 44巻12号  
 ※R3年9月の研究会で池田先生から紹介された文献。

- ・メタ分析から運転技能評価に有効とされた検査:  
 コンパス, 道路標識(SDSA), **TMT-A, Reyの複雑図形(模写・再生)**, Cube Copy(? 視知覚検査)
- ・効果量からみて有効: コンパス, 道路標識(SDSA), **TMT-A**
- ・検査が評価している認知機能  
 TMT-A, B, ドット抹消(SDSA); 注意機能/道路標識, コンパス: 遂行機能/Reyの複雑図形: 視覚性短期記憶  
 Cube Copy, MVPT: 遂行機能

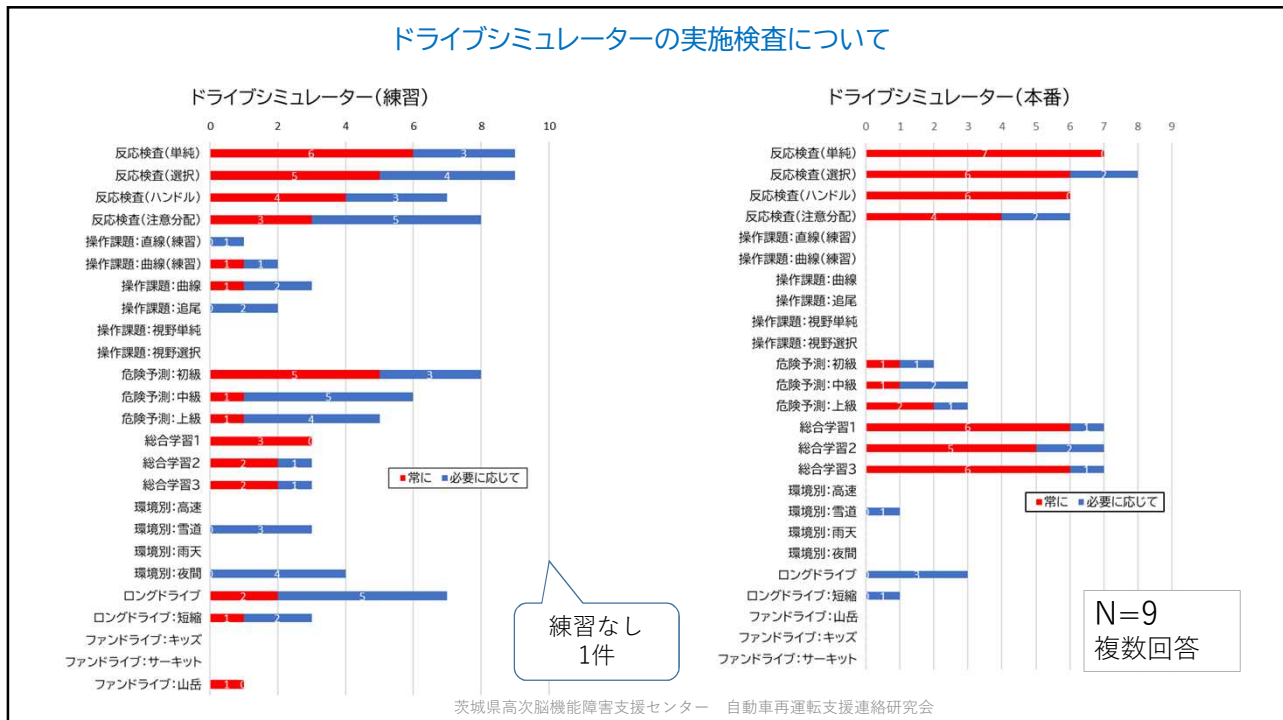
茨城県高次脳機能障害者支援センター 自動車再運転支援連絡研究会

✓ 日本高次脳機能学会作成ガイドライン



★ ③の「注意と処理速度の評価」の段階で判断に迷う場合は、残りの検査も含めて総合的に判断する

茨城県高次脳機能障害者支援センター 自動車再運転支援連絡研究会



### ✓ ドライブシミュレーターによる評価 (回答機関 9件) ※必須とした課題のみで整理しました。

- 練習なし→本番では運転反応検査とハンドル操作 :1件
- 練習と本番の必須項目が一致 : 3件
  - 運転反応検査、ハンドル操作、危険予測体験(1件)
  - 運転反応検査とハンドル操作、総合学習体験の組み合わせ(2件)
- 練習では要素的検査 (運転反応検査、ハンドル操作、危険予測)中心→本番では総合学習体験 :3件
- 練習ではロングドライブ→本番では総合学習体験 :1件
- 練習では危険予測初級→本番では危険予測上級 : 1件

ハンドル操作課題、危険予測や環境別課題は必要に応じて実施している機関が多い傾向。

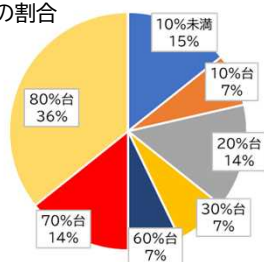


## ✓「条件つき許可」

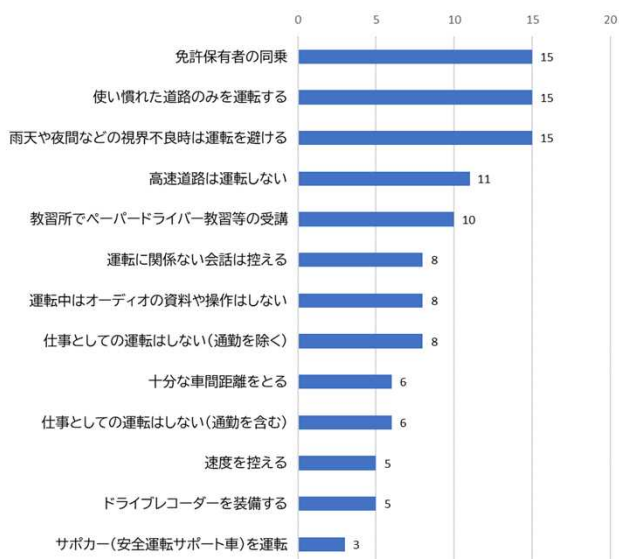
### 条件つき許可の有無



### 条件つき許可の割合



### 条件つき運転可における具体的条件



茨城県高次脳機能障害支援センター 自動車再運転支援連絡研究会

## 参考文献（再掲）

渡邊修「脳損傷者に対する自動車運転再開に向けた指導」

リハビリテーション医学,56,807-814,2019

加藤徳明「高次脳機能障害と自動車運転」 高次脳機能研究 41 巻第 2 号,178-185,2021

加藤貴志・岸本周作・井野辺淳一・稲垣敦

「脳損傷者の実車運転技能に関連する神経心理学的検査について

ーシステムティックレビューとメタ分析ー」

総合リハビリテーション,44巻12号,1087-1095,2016

日本高次脳機能学会ホームページ

「脳卒中、脳外傷等により高次脳機能障害が疑われる場合の自動車運転に関する

神経心理学的検査法の適応と判断」

<https://www.higherbrain.or.jp/wp/wp-content/uploads/2023/10/5a2f3a7873f997be6f1f39c6053a4af0.pdf>

茨城県高次脳機能障害支援センター 自動車再運転支援連絡研究会